

コワーキングスペース『point 0 marunouchi』が WELL 認証プラチナランクを取得

『point 0 marunouchi』でのダイキンの取り組み 3 件が「WELL のイノベーション」として評価

ダイキン工業株式会社が出資する株式会社 point0 が運営するコワーキングスペース『point 0 marunouchi (ポイントゼロ マルノウチ)』は、2024 年 10 月に日本国内のコワーキングオフィスとして初めて「WELL Building Standard™ v2 (以下、WELL 認証)」において最高ランクのプラチナランクを取得しました。

WELL 認証は、空間のデザイン・構築・運用に「人間の健康」という視点を加え、より良い住環境の創造をめざしたオフィス空間の評価システムです。認証には、「空気」「水」「食物」「光」「運動」「温熱環境」「音」「材料」「こころ」「コミュニティ」の 10 カテゴリーに「イノベーション」のカテゴリーを加えた評価によって、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズのいずれかのランクが与えられます。

『point 0 marunouchi』は、2020 年に WELL 認証のゴールドランクを取得しており、今回の更新審査において、「こころ」「コミュニティ」カテゴリーで満点を取得しました。さらに、「イノベーション」カテゴリーの「WELL のイノベーション」項目において、ダイキンの 3 件の取り組みを含む、6 件の取り組みが加算評価されました。「WELL のイノベーション」項目における 6 件の評価は、日本国内過去最多※1 となります。業界・領域を越えた企業による協創の成果がプラチナランクの取得につながりました。

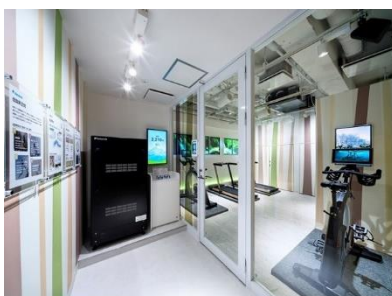
未来のオフィス空間の実現に向けた新価値創造に取り組む場として 2019 年 7 月に開設された『point 0 marunouchi』では、当社をはじめ 17 社※2 の企業がウェルネスに貢献する様々な実証実験に取り組んでいます。WELL 認証の審査では、これらの取り組みも評価の対象となります。今回イノベーション提案の加算対象として評価された取り組みは、低酸素空間を用いた健康増進や、天気などの情報をもとにした生成 AI による情緒的表現、感染症リスクやアレルギー発症リスクの低減など、様々なアプローチで空気の価値化を図る取り組みです。

ダイキンは、環境・社会課題の解決に貢献しながら事業を拡大し、成長・発展し続けることをめざして、戦略経営計画「FUSION25」を策定しています。そこでは成長戦略のテーマのひとつに「空気価値の創造」を掲げています。当社は今後も様々な検証に取り組みながら、さらなる空気価値の創造をめざします。

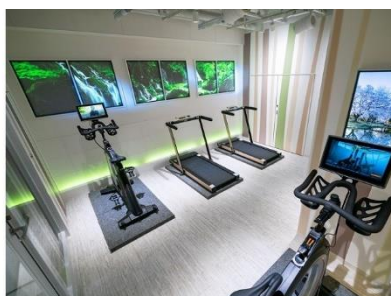
WELL 認証プラチナ評価における加算対象となったダイキンの 3 件の取り組み

● 低酸素フィットネスルーム導入によるオフィス利用者の健康増進やコミュニケーション促進

ダイキンの『低酸素システム OXORA (オクソラ)』を用いて、オフィス内に酸素濃度を約 15% (標高 2500m 相当) に下げた「低酸素フィットネスルーム」をつくり、そこでのトレーニングを通じてオフィス利用者の健康増進を図る取り組みです。低酸素空間では、短時間の運動や仕事をしながらの手軽な運動でも、筋力アップ、持久力向上、美容、ダイエット、睡眠の質向上などの健康増進効果が期待できます。今後は、低酸素空間をデスクワークや WEB 会議の場としても活用し、通常業務における健康増進の可能性も検証する予定です。



低酸素フィットネスルーム



『低酸素システム OXORA』

● 画像生成 AI を活用したオフィス利用者のコミュニケーション促進や周辺地域との関係性強化

季節やオフィス周辺の天気、その日のニュースなど、日々変化する情報をもとにして情緒的な風景画などを AI で生成し、室内のモニターに表示する取り組みです。オフィス利用者の興味を引きコミュニケーションの話題を提供するため、『point 0 marunouchi』を利用している企業に関連したニュースを自動的に選定したり、様々な画風を用いたりするなどの先進的な工夫を盛り込んでいます。オフィス利用者同士のコミュニケーションを活性化したり、地域への愛着を育んだりすることを通じて、コワーキングスペースをより有効かつ快適に活用できるようにするための試みです。

この技術はダイキンと大阪大学が共同開発したもので、今後は、オフィス空間以外での活用の可能性も模索します。



AIで生成した風景画を表示したモニター



気象状況からAIで生成した風景画

● 会議室内における感染症リスクやアレルギー発症リスクの見える化と低減

オフィス内の全会議室に設置したダイキンの『UV 加湿ストリーマ空気清浄機』で空気中のウイルスや花粉などのアレルゲンを捕集するとともに、空気清浄機の集塵フィルターに付着したホコリを大阪大学に持ち込んで成分を分析し、会議室内に浮遊するウイルスや菌の量や種類を特定する取り組みです。また、ホコリの分析結果に応じて、必要な場所に空気清浄機を移動させたり新設したりすることで、オフィス利用者の安全性と安心を高める試みです。



『UV加湿ストリーマ空気清浄機』を設置した会議室



『UV加湿ストリーマ空気清浄機』

※1 株式会社 point0 調べ

※2 2024 年 11 月 28 日現在

【お問い合わせ先】ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室
大阪：(06) 6147-9923 / 東京：(03) 3520-3100 / e-mail : prg@daikin.co.jp